

第14回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会及び三者意見交換会結果

(開催日：平成22年2月17日)

第14回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、各部会からの検討結果の報告があり、その後三者の意見交換会を行いました。

第14回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会

1. 啓発活動部会からの報告・提案

平成21年度に行った三者が協働して取り組んだ、ごみ減量月間、ごみ減量の日、三者の意見交換会について結果報告を行いました。また、新事業も含め平成22年度における各事業提案があり、それぞれ了承を受けました。

(1) 平成21年ごみ減量月間の取組結果について

別添の「平成21年度「ごみ減量月間」取り組み結果」をご覧ください。

(2) 平成22年度のごみ減量月間の実施について(提案了承)

街頭キャンペーンの実施

ごみの発生抑制を推進するため、買い物時のマイバッグ持参によるレジ袋ごみの削減の呼びかけを中心に商店街などの街頭でごみ減量キャンペーンを行い、区民の意識啓発・行動促進を図っていく。

キャンペーンでは、ごみの減量に関するアンケートの実施とともに、マイバックの配布を行い、マイバックの利用促進を積極的に行うキャンペーンとしていく。

ごみ減量清掃フェアでのキャンペーンの実施

10月に実施される「ごみ減量・清掃フェア」会場にて街頭キャンペーンを実施して、ごみの減量を呼びかけていく。

産業フェアへの参加

産業フェアに参加し、体験型のイベントを通じてごみの減量を呼びかけていく。

PR活動について

ごみ減量月間のPRについては、ポスターを区掲示板に掲示しPRするとともに、推進協議会参加団体に掲示を呼びかけていく。

また、「広報かつしか」や葛飾区ホームページ、FMかつしかを通じて区民にお知らせしていく。

(3) 平成21年度「ごみ減量の日」の取組みについて

*平成21年4月から9月までの取組み内容

区民	積極的にばら売り・量り売りを利用しましょう。
事業者(小売業)	不要な容器包装の使用を減らしましょう。
事業者(事業所)	不用品や廃棄物のリサイクルを進めましょう。

*平成21年10月から平成22年3月までの取組み内容

区民	マイバッグを利用してエコ活動に参加しましょう。
事業者(小売業)	マイバッグの利用を促進しましょう。
事業者(事業所)	再利用・リサイクルで廃棄物の減量を進めましょう。

(4) 平成22年度の「ごみ減量の日」の取組みについて(提案了承)

毎月5日の「ごみ減量の日」には、各団体における活動を推進し、葛飾区全域で活動を行うことにより効果的なPRを行っていく。

平成22年4月から9月までの取組み内容提案

区民の取組み

容器包装の分別を徹底しましょう。

プラスチック製容器包装については、「プラマークの日」に回収して資源としてリサイクルしていますが、「燃やすごみ」に混じって出されることが多く見受けられるようになりました。リサイクルできる資源を燃やしてしまうことになってしまうので、分別を確実にし、リサイクルに結び付けましょう。

事業者の取組み

(小売店)

容器包装の工夫でごみになるものを減らしましょう。

商品の販売の際に工夫により容器包装の減量を行うことが可能です。例えば、袋に入れていたものをテープで束ねたり、商品が動かないようにラップなど包装していたものをテープで留めるだけにするなど、様々な工夫で容器包装の減量を行いましょ。

(事業所)

再使用・リサイクルを念頭に事業活動を行いましょ。

物を作るとき、使うときは、再使用やリサイクルを念頭において、再び使いやすい・リサイクルしやすい物を製作・使用していくことが、ごみの減量につながります。

製造するものや、事業所で使用している物の様々な使用用途や、どのようにしたらリサイクルしやすいのかなどを念頭に置きながら事業活動を行いましょ。

平成22年度「ごみ減量の日」のPRについて

自治町会連合会作成による回覧板、商工会議所葛飾支部及び葛飾区商店街連合会作成による会員向けちらしにより、PRを行っていく。

また、ごみ減量キャンペーン会場でのPRや広報かつしか、ホームページ、かつしかエフエム等を利用したPR活動を行う。

更に毎月1日から5日までは区役所入口にのぼり旗を掲げ、来庁者に対してPRを行う。

(3) 平成21年度区民・事業者・区による意見交換会について

ごみの減量に向けた具体的な行動についてテーマを絞って意見の交換を行うため、推進協議会参加メンバーである区民、事業者、区にコーディネーターとして学識経験者を加えた参加者による意見交換会を開催する。それぞれの立場、役割を再認識し、相互理解を深めることでごみの減量やリサイクルの推進のための問題の解決や実現可能な具体的な行動を考え今後の推進協議会の活動の参考にしていく。

実施日

・平成22年 2月17日(水)

第14回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会終了後開催

・コーディネーター(学識経験者1名)の基調講演をもとに三者による意見交換を行う。

テーマ

区民・事業者・区の三者で進めるごみ減量

～積極的な取り組みによるごみ減量に向けて～

コーディネーター

服部 美佐子 氏(環境ジャーナリスト、葛飾区リサイクル清掃審議会委員)

聴講者募集

推進協議会活動のPRの一環として聴講希望者を広報かつしかで募集した。

(4)平成22年度区民・事業者・区による意見交換会の実施について(提案了承)

三者の意見交換を行うことで相互理解を深め、ごみの減量やリサイクルの推進のための具体的な行動を考える機会として、平成22年度においても意見交換会を行う。

意見交換会ではコーディネーター(学識経験者)が基調講演を行った後に、同席し意見を取りまとめ、議事の円滑な進行を行う。

(5)平成22年度マイバッグ利用促進の取り組みについて(提案了承)

推進協議会では、毎年ごみ減量キャンペーンとしてマイバッグの配布を区内各所で行ってきた。しかし、マイバッグは利用されなければごみ減量につなげることができないため、新たにマイバッグ利用促進の取り組みを実施していくものとする。

平成22年度は試行として行い、その取り組み結果を見て拡大を図る。

実施内容

区内の商店街でマイバックを持ってきてお買い物をしたお客様にスタンプカードを配布し、マイバックを持参するたびにスタンプカードにスタンプを押して、ある一定のスタンプが貯まったら景品と交換する。

対象

区内の2商店街

配布景品

スタンプカードのスタンプが貯まることにより、区内の古紙再生品であるリー(Ree)ちゃんペーパー(トイレットペーパー6Pまたはティッシュペーパー6P)と交換ができるものとする。

配布方法

リー(Ree)ちゃんペーパーは、商店街内で交換できる指定店(指定場所)を決め、その店舗でスタンプカードと引き換えをしてもらう。なお、配布の他にリー(Ree)ちゃんペーパーを通常販売で扱ってもらうことによりエコショップとしても認定できる。



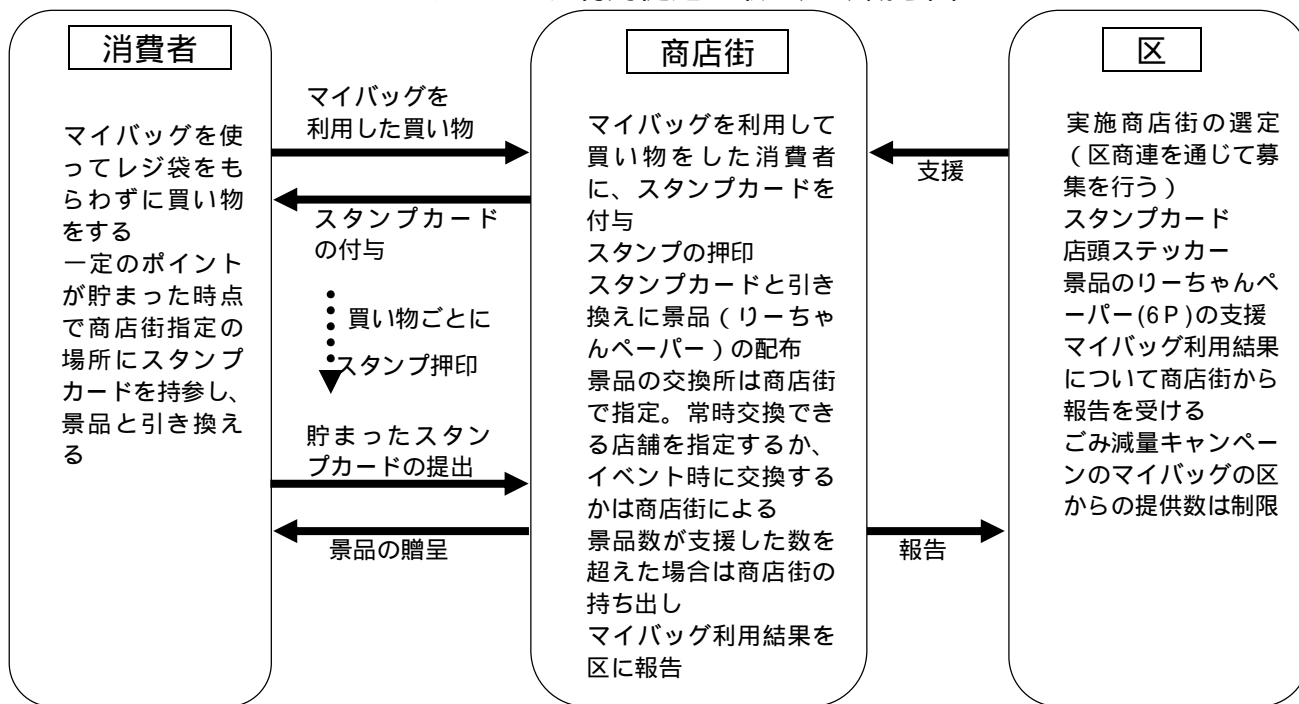
リー（Ree）ちゃんペーパーとは...

葛飾区内から回収された古紙を再生して製造されたトイレトペーパーとティッシュペーパー（左写真）。

漂白過程で塩素系薬品を使用していない古紙100%（紙パック類の混入率10%以上）の製品です。1巻130mで芯がないので最後まで使えます。

皆さんにたくさん使われることで、区内で回収された古紙も、有効に利用されるようになります。

<マイバッグ利用促進の取り組み概念図>



2. 各団体が行う通年の取り組みについて報告・提案

各団体が行う通年の取り組みについて、平成22年度についても引き続き推進していくことになりました。

(1) 平成21年度における各団体の取組結果について

平成21年度については、引き続き参加団体が率先して自主的な取り組みを行った。各団体の自主的な取り組み

団体名	取組内容
葛飾区自治町会連合会 葛飾清掃協力会 葛飾東清掃協力会	水切りの徹底による生ごみの減量
葛飾区消費者団体連合会 集団回収団体	古紙の再利用促進、マイバッグの利用促進 自主的な資源回収行動の更なる推進
東京商工会議所葛飾支部 葛飾区工場団体連合会 葛飾区玩具産業連合会 東京都電機商業組合葛飾支部 かつしか異業種交流会 葛飾区商店街連合会	チラシ配付による働きかけ 常任理事会等における働きかけ

団体名	取組内容
かつしかエフエム 株式会社 JCN コアラ葛飾	放送による働きかけ

区民に対する意識啓発・行動促進（平成 21 年 10 月実施、平成 22 年 3 月予定）

葛飾区自治町会連合会を通じて、「ごみ減量の日」の P R や、生ごみの水切りなどによるごみの減量を、回覧板により呼びかけ。

事業者に対する意識啓発・行動促進（平成 21 年 11 月実施、平成 22 年 3 月予定）

東京商工会議所葛飾支部を通じて、「ごみ減量の日」の P R やごみの減量を、ちらしの配布により呼びかけ。

（ 2 ）平成 2 1 年度における区の実績について

区は、各団体の取り組みについて、協働して実施した。また、各団体の取り組みについて、推進協議会の参加団体が率先して取り組む事業として区のホームページなどを利用して区民へ周知し、区民のごみの減量、リサイクル推進の意識啓発・行動促進を図った。

- ・ 駅広報スタンドを利用したチラシの配布
- ・ スポット C M（かつしかエフエム）の作成・放送
- ・ 区ホームページによる推進協議会の活動の P R

（ 3 ）平成 2 1 年度における目的別部会の活動

より一層のごみの減量やリサイクルの推進を目指すと共に、推進協議会の自主的な運営の推進を図るために設置した目的別の部会を中心に、自主的な取り組みについて検討を行った。

（ 4 ）平成 2 2 年度の通年の取り組みについて（提案了承）

これまで以上にごみの発生抑制やリサイクルの推進を図るため、区民・事業者の自主的なごみ減量への取り組みについて協議し、活動の充実していく。

各団体における自主的な取り組みについて

各団体の自主的な取り組みの継続・拡大を図っていく。

葛飾区自治町会連合会 葛飾清掃協力会 葛飾東清掃協力会	水切りの徹底による生ごみの減量
葛飾区消費者団体連合会 集団回収団体	古紙の再利用促進、マイバッグの利用促進 自主的な資源回収行動の更なる推進
葛飾区商店街連合会 東京商工会議所葛飾支部 葛飾区工場団体連合会 葛飾区玩具産業連合会 東京都電機商業組合葛飾支部 かつしか異業種交流会	チラシ配付による働きかけ 常任理事会等におけるごみ減量の働きかけ
かつしかエフエム 株式会社 JCN コアラ葛飾	放送や情報誌への掲載による働きかけ

区民に対する意識啓発・行動促進

葛飾区自治町会連合会を通じて、ちらしの回覧による意識啓発・行動促進を図る。

事業者に対する意識啓発・行動促進

東京商工会議所葛飾支部及び葛飾区商店街連合会を通じて、啓発チラシを配付し意識啓発・行動促進を図る。

区における取り組みについて

広報かつしかや区ホームページの利用、啓発チラシの駅広報スタンドを利用した配布、さらにメディアを活用など、様々な媒体を活用したPRを充実することで、ごみの減量、リサイクル推進の意識啓発・行動促進を図る。

また、各団体における取り組みのPR機会の確保については、各団体の取り組みをPRする機会を設け、対外的に発信していくことで、各団体のイメージにつなげるとともに、他団体への意識啓発・行動促進を図る。

部会活動の推進

区民団体や事業者それぞれの活動の詳細を各部会を中心に検討することで、より一層のごみの減量やリサイクルの推進に対して活発な活動を目指すと伴に、推進協議会の自主的な運営の推進を図る。

3. 区民活動部会からの報告

区民活動部会では、7月の推進協議会で提出をした「不要な容器包装の削減について提案書」に基づき、その中で提案されている「消費者の買い物の際のマナー向上」などについて事業者活動部会で実施されたアンケートを参考に、消費者に向けて「商品を必要以上に触らない」「マイバッグは会計後に広げる」といった事項をポスターやキャラクターなどでPRを行なっていく取り組みが提案され、今後も引き続き検討していくことが報告されました。

区民活動部会では、「不要な容器包装の削減についての提案書」提出を受けて、事業者活動部会において実施したアンケート結果において、消費者に対しての意見を以下のようにまとめました。

- ・ばら売り・裸売りされているものを積極的に買うようにする。
- ・ばら売り・裸売りされているものを買う時は、後から買う人のため、必要以上に触ったりせず、なるべく上にあるものから買うようにする。
- ・マイバッグを持参して買い物をする時は、会計が終わってから取り出したり広げるようにする。

4. 事業者活動部会からの報告

事業者活動部会では、区民活動部会から提出された「不要な容器包装の削減について提案書」を受け、容器包装の状況やプラマークの表示について事業者としてどのような取り組みができるか部会員にアンケート調査を実施しました。

そのアンケート結果を踏まえて、事業者活動部会の取り組みとして「容器包装をしない商品を取り決める」「消費者に対し、商品やマイバッグの取り扱いについて啓発する」

といった提案がされ、また、マイバッグの利用促進策も併せて検討を行いました。今回は取り組み案をまとめるには至らず、引き続き検討を行っていくこととしたとの報告がありました。

アンケート結果のまとめは別添の「事業者活動部会アンケート結果」に掲載しています。

区民・事業者・区の三者による意見交換会

テーマ 区民・事業者・区の三者で進めるごみ減量

～積極的な取り組みによるごみ減量に向けて～

コーディネーター

服部 美佐子 氏（環境ジャーナリスト、葛飾区リサイクル清掃審議会委員）

推進協議会終了後、コーディネーターとして、服部美佐子氏をお招きして、区民・事業者・区の三者がどのような取り組みでごみ減量に向けて協働していけばよいのかについて、他自治体の取り組み事例などを参考に、基調講演及び意見交換会を行いました。

（今回の意見交換会のまとめについては第15回の推進協議会で報告予定です。）